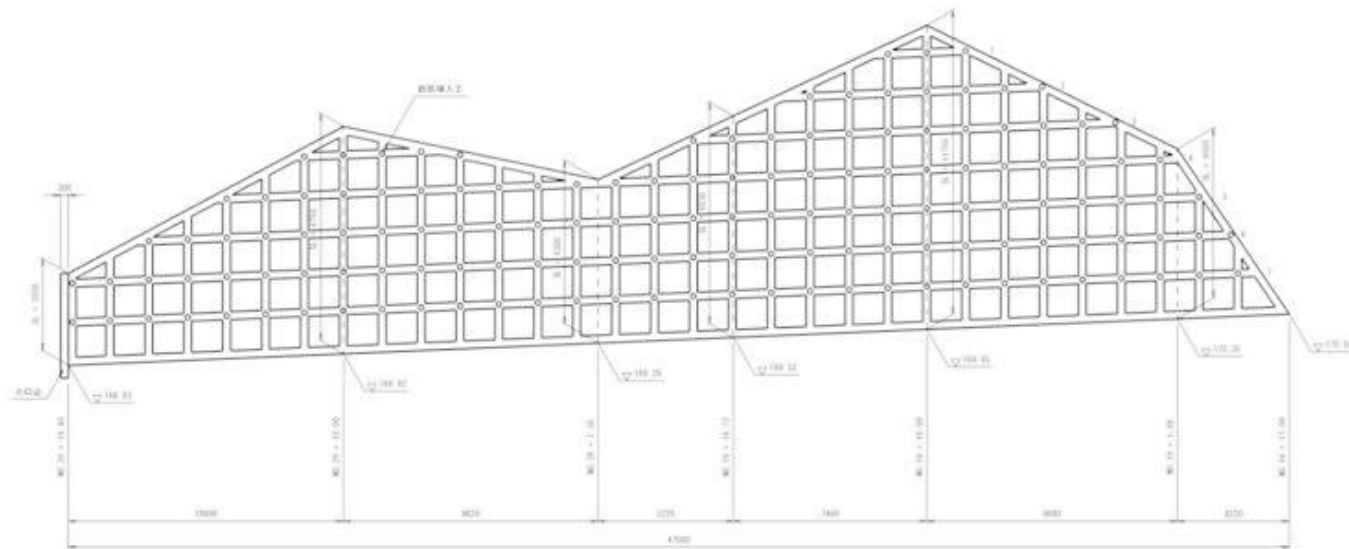


法面形式比較表 (2) NO.15 ~ 終点

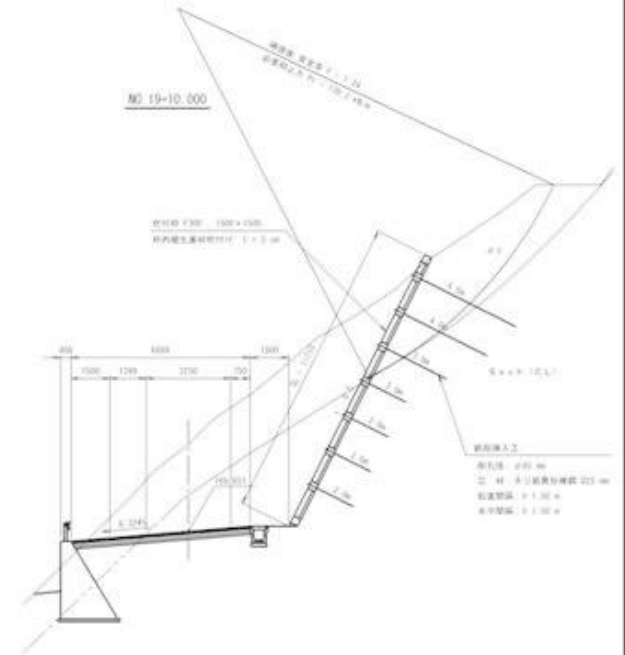
	第1案 (コンクリート張り + 鉄筋挿入工)	第2案 (吹付枠 + 鉄筋挿入工)	第3案 (バンウォール工)			
断面図						
概要	<p>掘削斜面が土砂及び軟岩の為、切土勾配を 1 : 0.5 とし、鉄筋挿入工を逆巻きで掘削・鉄筋挿入の順で施工を行う。</p> <p>表面工としてコンクリート張りを採用し、土砂部の崩落・崩壊を防ぐ。コンクリート面が露出し景観性は劣る。</p>	<p>掘削斜面が土砂及び軟岩の為、切土勾配を 1 : 0.5 とし、鉄筋挿入工を逆巻きで掘削・鉄筋挿入の順で施工を行う。</p> <p>表面工として吹付枠を施工する事により、土砂部の崩落・崩壊を防ぐ。</p> <p>特内緑化については、「のり面緑化の手引き」によれば、1 : 0.5 程度までは緑化が可能とあり、吹付枠を除けば景観的には優れる。</p>	<p>掘削斜面が土砂及び軟岩の為、切土勾配を 1 : 0.5 とし、バンウォール工を採用した案。バンウォール工は、逆巻き施工を基本とし、表面保護工にプレキャストコンクリート板を使用する工法である。</p> <p>パネルに模様があり景観性は良好である。</p>			
安定性	補強前の安全率	$F = 0.56 < F_s = 1.20$	補強前の安全率	$F = 0.56 < F_s = 1.20$	補強前の安全率	$F = 0.56 < F_s = 1.20$
	必要抑止力	$Pr = 130.3 \text{ kN/m}$	必要抑止力	$Pr = 130.3 \text{ kN/m}$	必要抑止力	$Pr = 130.3 \text{ kN/m}$
	引張力	$Td = 55 \text{ kN/本} < Ta = 78 \text{ kN/本}$	引張力	$Td = 55 \text{ kN/本} < Ta = 78 \text{ kN/本}$	補強後の抑止力	$Pr = 130.3 \text{ kN/m} < Pa = 159.5 \text{ kN/m}$
	補強後の安全率	$F = 1.244 > F_s = 1.20$	補強後の安全率	$F = 1.244 > F_s = 1.20$		
	逆巻き施工の為、掘削時の安定にも問題は無い。		逆巻き施工の為、掘削時の安定にも問題は無い。		逆巻き施工の為、掘削時の安定にも問題は無い。	
施工性	<p>1. 鉄筋挿入は、掘削・削孔・鉄筋挿入・支圧板設置の順に逆巻き施工として、最後に表面工を行う工程とし、規道に近接する法面の崩壊を防ぐ。</p> <p>2. 表面工が現場打ちの為、足場設置・鉄筋組立・型枠設置・コンクリート打設・養生と工程が多く、工期を要す。</p>		<p>1. 鉄筋挿入は、掘削・削孔・鉄筋挿入・支圧板設置の順に逆巻き施工として、最後に表面工を行う工程とし、規道に近接する法面の崩壊を防ぐ。</p> <p>2. 表面工が吹付枠の為、第1案より工種が少なく、工期短縮が図れる。</p>		<p>1. 工程としては、第1・2案と同様であるが、削孔にロータリーバーカッションを使用する。</p> <p>2. パネル設置にラフタークレーンを必要とする。</p>	
	10m当りの施工日数	20 日	10m当りの施工日数	17 日	10m当りの施工日数	22 日
経済性	10m当りの直接工事費		10m当りの直接工事費		10m当りの直接工事費	
	3,244 千円	1.00	4,557 千円	1.40	8,799 千円	2.71
評価	<p>経済性では比較案中、最も優れる。</p> <p>施工性では第2案に劣る。</p> <p>景観性では比較案中最も劣る。</p>		<p>経済性では第1案に劣るが施工性・景観性に優れる。</p>		<p>経済性・施工性共、比較案中最も劣る。</p> <p>景観性では中位である。</p>	
	2		1		3	

吹付枠工(3)詳細図

展開図



断面図



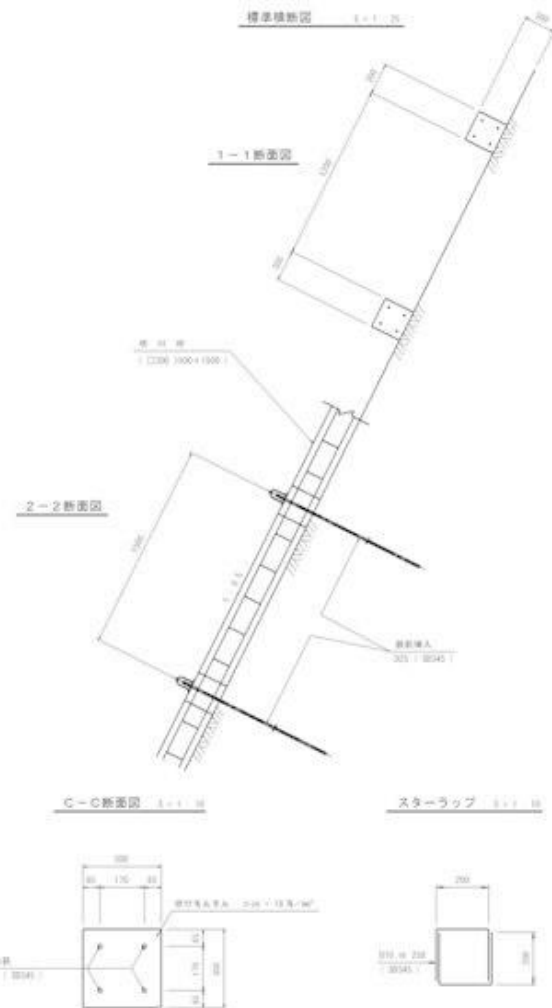
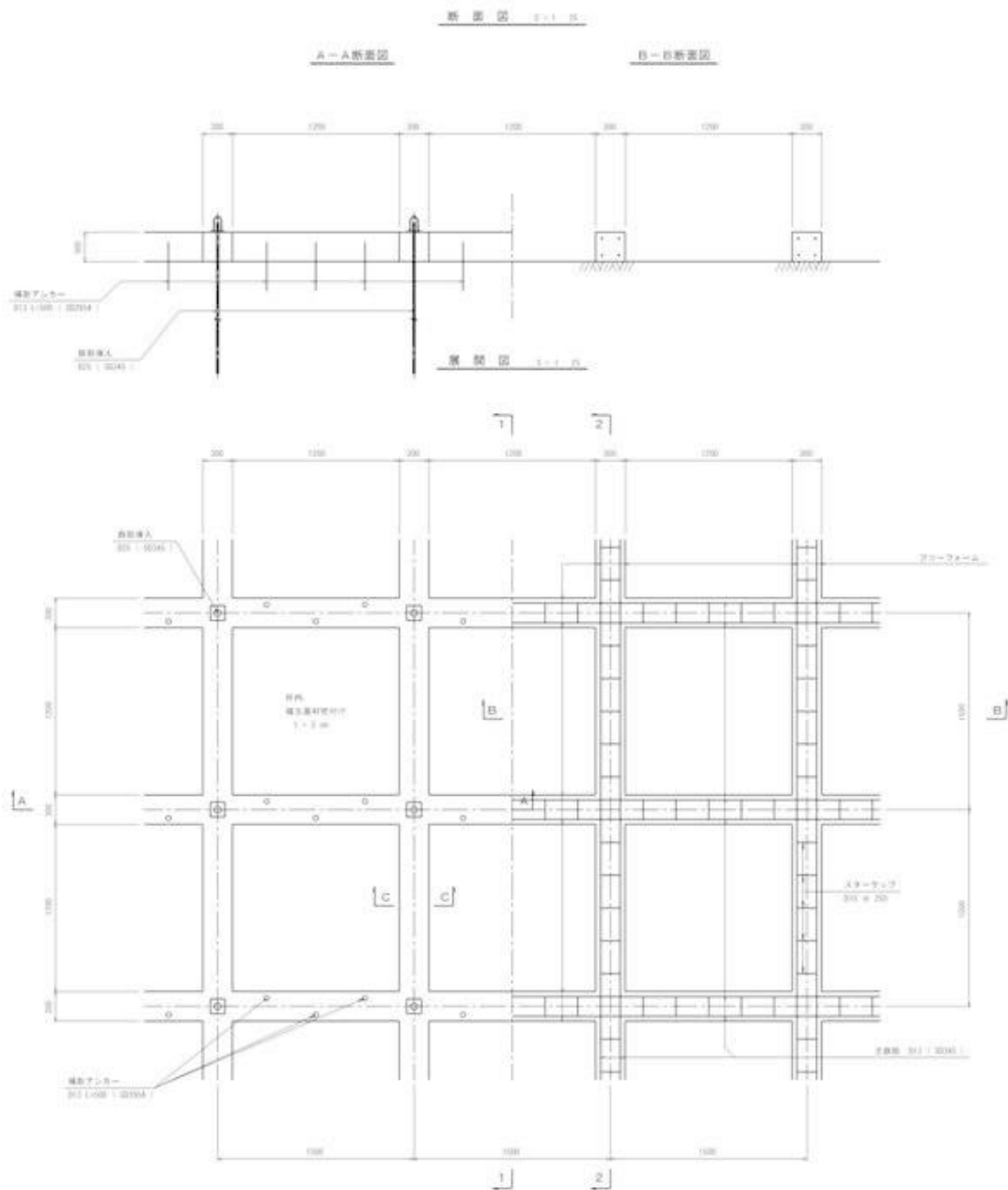
鉄筋挿入数量表

部 号	挿入高	挿入長	間 隔	挿入材径	本 数	備 考
1	400	4700	400	100	3	
2	600	3000	400	100	7	
3	2000	2000	400	100	11	
4	1600	1600	400	100	25	
5	1000	1000	400	100	24	
6	1400	1400	400	100	11	
7	1800	1800	400	100	21	
合 計					142	

吹付枠工(2) 材料表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
鋼 材 材	φ100 30 (200×100) 断面高1400以下	m	452	
鋼 材 材	φ100 25	m	300	
鋼 材 材	φ100 20	m	4.4	
鋼 材 材	φ100 15	m	304	
鋼 材 材	断面高1400以下 1×2 鋼	m	112	
鋼 材 材	断面高1400以下 1000 305	m	260	
鋼 材 材	φ100 14 9 鋼	m	1.2	

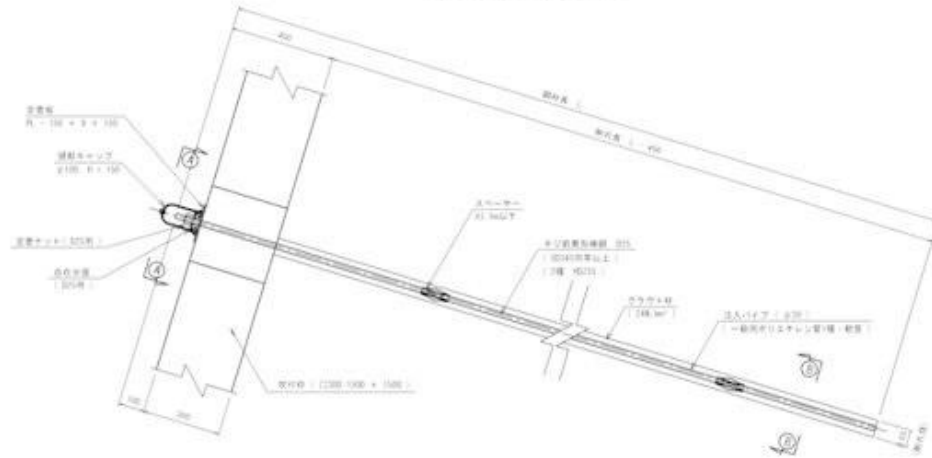
吹付枠 (口300 1500×1500) 標準図



注) 枠内空部に高目棒人が無い場合は、  
スラーブ= 310×300 / 3034、高目棒なし。

# 鉄筋挿入標準図

ネジ鉄鋼形枠図 025 5.1.1.10



鉄部キャップ 材料表

品名	規格	単位	数量	備注
定着プレート	200x200	個	100	鉄部キャップ
定着板	φ100×H=100	個	100	鉄部キャップ
鉄部キャップ	200x200	個	100	鉄部キャップ
鉄部キャップ	φ100×H=100	個	100	鉄部キャップ
鉄部キャップ	φ100×H=100	個	44	1個あたり44個

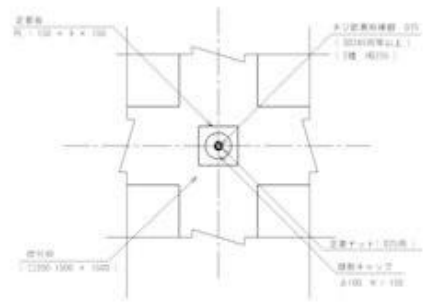
- 01: 定着プレートは鉄部キャップの中心に設置し、鉄部キャップの中心に設置すること。
- 02: 定着板の標準配置は「ブラケットアンカー」が鉄部キャップの中心に設置することとする。

標準配合例

コンクリート	鉄部キャップ	定着板	定着プレート
標準配合例	φ100	200x200	200x200x100
100	100	100	100

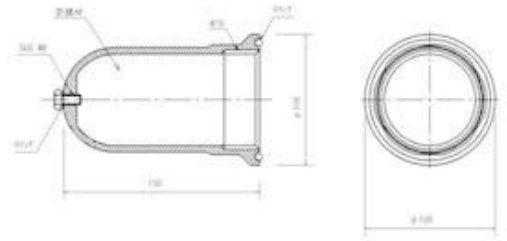
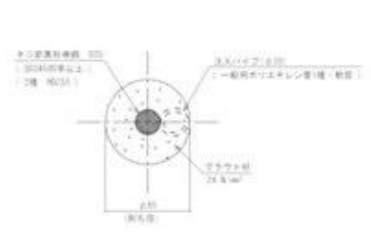
03: 鉄部キャップにより鉄部キャップが変形した場合はその中心に定着板を配置し、鉄部キャップの中心に設置することとする。

断面 ①-② 5.1.1.11



鉄部キャップ 5.1.1.12

断面 ③-④ 5.1.1.13



定着板 5.1.1.14  
(200x200x100)

